

平成22年度

## 学校経営方針

北九州市立牧山小学校  
校長 岩 永 予

### 1, 学校経営の基盤

- (1) 日本国憲法や改正教育基本法等の教育関係の諸法、新学習指導要領
- (2) 教育改革の動向
- (3) 本校の歴史や伝統（創立93年目）
- (4) 子どもや保護者、地域等の実態（2つの市民センター、戸畑祇園祭りなど）を踏まえた学校経営を行う。

### 2, 本市の学校教育全体の目標

一人一人に「生きる力」をはぐくむ学校教育の創造

この目標を支える柱として

心の育ちの推進・確かな学力の向上・健やかな体の育成

これらのことを実現するための重点化すべき項目として

「11の重点目標」（全体構想図参照）

### 3, 学校経営の基本方針

一人一人の子どもがよく育つことを第一に、保護者や地域の願いに応え、本校のもてる力を生かした「特色ある学校づくり」「開かれた学校づくり」に努める。

#### (1) 本校の教育目標

自分をりっぱに 仲よく たくましく よく学ぶ

↑

(伸びようとする心・わかろうとする心・挑戦する心)

仲よく

たくましく

よく学ぶ

↓

↓

↓

やさしい心

くじけない心

よく考える力

思いやる心

がまんする心

よく読む力

理解し合う心

健やかな心と体

よく調べる力

#### (2) めざす子ども像

… 知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）をそなえた子ども

- 自分の力で学び、自分で考える子ども
  - 相手を思いやるやさしい子ども
  - 礼儀正しく、社会のルールを守る子ども
  - 善悪を正しく判断し、行動する子ども
  - つらいことでもがんばりぬく子ども
- (3) めざす教師像…… 学び合い、どの子ども喜びを共有できる教師
- 出合いを大切にし、一人一人の命と心をはぐくむ教師
  - 目標を共有し、報告・連絡・相談体制と組織としての動きを大切にする教師
  - ふれあいを大切にし、明るく・やさしく・厳しさをもつ教師
  - 創意工夫の意欲に燃え、専門家（教育公務員）としての誇りをもつ教師  
(研修・研究)
- (4) めざす学校像……… 校訓： 礼儀・協同・勤労の心を育てる学校
- 豊かな心を育み、常に礼儀正しい（秩序ある落ち着いた）学校
  - 信頼関係のもと、誰とでも力を合わせ、協同の喜びを体感できる学校
  - いつも労をいとわず、勤労に努める学校
  - 子ども・保護者・地域の方々が共に学び合う（開かれた）学校

#### 4. 本年度の重点目標とその達成のための方策

- (1) 子どもの学ぶ意欲を大切にし、進んで発言するようにする。
- ① 様々な研修機会を生かし、課題をもち意欲的に学び教師としての指導力を高める。
  - ② 校内にある教材・教具を生かすとともに、計画的・系統的に指導していく。
  - ③ 子ども自身の自己評価を生かすとともに、指導と評価の一体化を目指す。
- (2) めあてに向かって努力させ、達成感が味わえるようにする。
- ① めあてを常に意識させ、モデルとなるものを示しながら、定期的に振り返らせる。
  - ② 活動などの意義や手順を教え、実践させて成果を称賛する。
  - ③ 全児童の前での表彰や通信での公表などを行い、達成したことを認め自信をもたせる。
- (3) 健康・安全・給食（食育）指導で、落ち着いた学校生活ができるようにする。
- ① 健康・安全・給食（食育）に関する教育を意図的・計画的・継続的に指導する。
  - ② 外で遊ばせるとともにストレスが増えない居場所（学級）づくりをしていく。
  - ③ 危険な場面を見逃さず、その理由や安全の手だてを示し全職員で指導していく。
- (4) 相手の立場に寄り添わせ、いじめや差別のない学校づくりをする。
- ① アンテナを高くして子どもの様子の観察や「心のアンケート調査」の実施などで情報を共有しながら、いじめや差別についてきめ細かく指導していく。
  - ② 乱暴な言動などについて、全体や個別で根気強く指導を繰り返す。
  - ③ 折り合いをつけることの大切さを学ばせ、よりよい人間関係を築かせる。
- (5) 黙って掃除ができるようにし、働く喜びが感じられるようにする。
- ① 掃除の意義や仕方などについて全校で確認し、丁寧に教え定着に努める。
  - ② 黙って掃除をする子どもや集団を大いに認め、活動の意義を捉えさせる。
  - ③ お互いの働きを感謝し合ったりして働く喜びを実感させる。

## 5、学校経営上の留意点

### (1) 学校教育目標達成のために

本校のすべての教職員が、学校教育目標を意識し、自らの分掌に基づいて、様々な教育活動を通して目標の達成に努める。

その基盤になるのが6学年・13学級である。

そこで各学年や各学級では、

- ① まず、子ども一人一人の実態を的確に把握する。
- ② 次に、教師の願いをもとに発達段階に応じた学年・学級目標（目指す児童像）を設定する。
- ③ そして、目標達成の手だてを明らかにしてふり返りを伴った実践をさせる。  
上記のことを、学年・学級経営案にまとめて、子ども一人一人がよりよく育つ学年・学級経営に努める。

### (2) 信頼と協力、責任の人間関係を大事にして

- ① 「開かれた学校」として保護者・地域などと密接な連携を保ち、効果的な教育活動を行っていくため、互いに信頼し、協力し合える関係づくりに努める。
- ② 教職員同士がお互いに相手の立場で考え、助けあい、励まし合う中で、自分のすべきこと・できることを積極的に行うように努める。
- ③ 校務分掌の分担内容を理解し、事務処理を計画的に行い、物品の管理なども間違いなく行う。

### (3) 先々を見通した教育活動を

・ 遠足は、春の歓迎遠足を実施。運動会は5月下旬に実施する。学習発表会は11月上旬学校開放週間中（文化の日）に行う。

5年生は一泊二日の自然教室。6年生には一泊二日の修学旅行を実施する。

対外的には、4年生は連合音楽会。5年生は球技大会。6年生は陸上記録会に参加する。

## 6、研修

- ① 自ら研修に励み、教職の専門性を高めるとともに、幅広い教養と見識を身につける。
- ② 主題研修は、よりよい生活と人間関係づくりのための「特別活動」を推進。
- ③ 互いに授業を公開し、校内研修会などを生かしながら、よりわかる授業の展開に努めるとともに「開かれた学級」にする。
- ④ 先進校の情報を取り入れたり、本校や教職員個々の教育的課題を解明したりするため、校外における研修や研究発表会・研究大会などにも積極的に参加する。
- ⑤ 人権教育研修や特別支援教育研修などにも積極的に参加し、人権教育や特別支援教育の力量を高める。

## 特色ある学校づくりのために

### (確かな学力)・・・知

- 1) 「子どもは学びたがっている」を合言葉に、子どもの「学習意欲」を喚起し、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力など」の育成のバランスを重視した学習指導で、確実な定着を図り、学力向上プランを策定し学力の充実に努める。
- 2) 少人数指導や習熟度別指導の充実に努め、個に応じた指導の工夫改善に努める。
- 3) 計画的に早めの準備を行い、1単位の学習の内容定着や時間の確保を図る。(チャイムを意識)
- 4) 学校図書館教育をはじめ、あらゆる機会を通じて「話す・聞く・書く・読む」等の言語活動を充実し「言葉の力」を育成する。
- 5) 宿題以外に家庭学習を適切に与え、家庭学習の一層の定着・充実に努めるとともに有効な余暇時間の過ごし方を育む。
- 6) 「学級タイム(仮称)」(火・木)を新たに設ける。「朝の10分間読書」を推進してもよい。  
暗唱、計算など

### (豊かな心)・・・徳

- 1) 心の目覚ましとしての「朝の10分間読書」(月・水・金)を推進する。
- 2) 子どもの自立心や自律性、生命を尊重する心の育成を重点化し道徳的実践力を育む。
- 3) 道徳性の育成に役立つ体験活動や心のノートの効果的活用で、道徳の時間を充実する。
- 4) 「鼓笛隊」の継承により、学校・地域への貢献とともに所属感を高める。
- 5) 縦割りの集団活動を意図的に計画的に仕組み、仲間意識を高める。

### (健やかな体)・・・体

- 1) かけがえのない命の大切さや、生命に対する畏敬の思いを育てる。
- 2) 学校保健・学校安全・学校給食(食育)の三本柱で健康教育の推進を図る。
- 3) 体の目覚ましとしての「健康マラソン」の継続、工夫を図る(3学期など)。
- 4) 命を守る防災・防犯・交通安全の教育の推進を図る。

豊かな心・健やかな体の育成のため、「青少年赤十字活動」の精神(健康安全・国際理解・親善・奉仕)を取り入れる。

## 開かれた学校づくりのために

- 1) PTA活動への参加・協働(委員会・バザー等)
- 2) 地域の教育力の活用(まちづくり推進協議会・図書ボランティア等)
- 3) 地域の行事への参加(川まつり)
- 4) 学校評議員制の機能化(学校外部評価等)
- 5) 学校開放週間等の取り組み(学習参観日等)
- 6) 牧山・牧山東市民センター等との連携(マナーアップ等)
- 7) 地域の安全組織との連携(安全ネットワーク等)